

評価細目の第三者評価結果

1 共通項目

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	Ⅰ-1-(1)-① 理念が明文化されている。	Ⓐ・B・C
	Ⅰ-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・B・C
良い点/工夫されている点： 社会福祉法人舟伏のごあんない、日野保育園パンフレット保育課程の冒頭に明示され、玄関のボードにも掲示している。		
改善できる点/改善方法：		
Ⅰ-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
	Ⅰ-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	Ⅰ-1-(2)-② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
良い点/工夫されている点： 年度当初の職員会議で全職員が確認している。胸に下げたネームプレートに入れて携帯し常に振り返っている。利用者には入園時に園長から説明をしている。		
改善できる点/改善方法：		

Ⅰ-2 事業計画の策定

Ⅰ-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	Ⅰ-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
	Ⅰ-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
良い点/工夫されている点： 社会福祉法人舟伏の中・長期計画に、日野保育園の中・長期計画を含めて策定している。法人内の各施設関連を保ちつつ、中・長期を踏まえた事業計画を策定している。		
改善できる点/改善方法：		
Ⅰ-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
	Ⅰ-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	Ⓐ・B・C
	Ⅰ-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	Ⅰ-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
良い点/工夫されている点： 年度始めの職員会議で事業計画を確認している。事業計画は作成後保護者には入園式に園長が説明している。年度末に全職員で1年間の振り返りを行い、次年度の計画に反映している。		
改善できる点/改善方法：		

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
I-3-(1)-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	①・B・C
I-3-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 年度初めの職員会議で、職務分担表において明らかにし園長の責任を表明している。防災関係、福祉全般、労働関係など遵守すべき法令をリスト化し書面化して全職員に配布、年度初めに確認をとっている。その都度の通知等、必要に応じて会議等で知らせている。必要があれば保護者にも知らせている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>		
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
I-3-(2)-①	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	①・B・C
I-3-(2)-②	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 法人の理事長、施設長、園長が意志統一し法人全体の保育部門と位置づけ、保育の質の向上のために取り組んでいる。園長はすべての職員の週案・日誌に目を通し一つひとつにコメントを記入し職員のモチベーションを高め、子どもにとって最善の利益を目差した保育の質の向上に意欲を持って取り組んでいる。職員一人ひとりを活かし、保育の質向上や意欲を高め研究や日々の保育に積極的にに関わり、「丁寧な保育」に心がけ、子どもにとっての最善の環境作りに一緒に取り組んでいる。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>		

評価対象II 組織の運営管理

II-1 経営状況の把握

II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者評価結果
II-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	①・B・C
II-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	①・B・C
II-1-(1)-③	外部監査が実施されている。	①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 法人舟伏の運営委員会で経営上の改善課題を話し合い見直している。民営化されてから毎年10人位ずつ園児が増加し、乳児保育、一時預かりの希望も多いなど法人全体で経営状況を捉えている。園生活をする子ども達の場に適した職員配置や処遇も考慮している。経営経理には公認会計士等の監査が実施され経営の透明性に努めている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>		

II-2 人材の確保・養成

II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果
II-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	①・B・C

II-2-(1)-② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。		①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 次年度からの乳児保育や障がい児保育に備え看護資格の職員確保に努め、子ども一人ひとりの個性や身体機能に配慮した管理体制に努めている。職員の配置も若い職員からベテランの職員と年齢に偏りがないように配慮している。人事考課については園独自の記述方法で自己評価を行い分析している。次年度からは人事考課が業務に反映する計画をしている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。		①・B・C
II-2-(2)-② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。		①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 毎月の勤務表を作成し均等化している。休日出勤の代休を手当てと共に配慮している。リフレッシュ休暇をとりやすく工夫している。園長は職員に常に懇談を行い意向の把握に努めている。福利厚生は法人全体の厚生や健康診断、予防接種などに取り組んでいる。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
II-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。		①・B・C
II-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。		①・B・C
II-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。		①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 年間の研修計画を作成し、全職員の研修が初任、中堅、保育内容と個別の教育にも配慮している。外部研修は全保協、県保協、私立保育園連盟の研修に参加し質の向上に取り組んでいる。民営化後は外部・園内研修に重きを置いてきたが、これからも研修に力を入れて継続予定をしている。エピソード（子どもの生活の気づき）の記述を取り入れて子どもの行動や言葉の読み解きを保育に活かし実践する取り組みなどを行い、更に保育力をアップさせたいと計画をしている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>		
II-2-(4) 実習生の受入れが適切に行われている。		第三者評価結果
II-2-(4)-① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。		①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 近隣の大学からの実習生が多くあり積極的に受け入れている。実習前に実習への姿勢、取組みについてオリエンテーションを行い、期間に合わせた計画を作成し指導をしている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>		

II-3 安全管理

II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		第三者評価結果
-----------------------------------	--	---------

II-3-(1)-①	緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	Ⓐ・B・C
II-3-(1)-②	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	Ⓐ・B・C
II-3-(1)-③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点 自主防災組織で担当者を明確にし、年間の計画にそってマニュアルを基に訓練を行っている。訓練後の職員会で訓練について話し合い確認している。災害時緊急メール配信の整備をし、定期的にメール配信をしたり、保護者も参観日に避難訓練に参加するなど、様々な方法での理解と意識を持ってもらうようにしている。ヒヤリハットを作成、記録を基に全職員で検証し安全の確保に努めている。園内のマップを作成、ヒヤリハットの場所を記し、事故の起きやすい場所を視覚化することで保育士が注意を払えるように実践している。感染症や健康生活に対しては保護者に保健便りを出して啓発している。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		

II-4 地域との交流と連携

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者評価結果
II-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・B・C
II-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ・B・C
II-4-(1)-③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 地域に開かれた保育園として地域との連携を大切にしている。一例として地域の老人クラブが園児との関わりを楽しみに園の教材畑を耕し、作物を計画して植え付けや手入れ収穫など協力を得ている。地域の農家から招待を受けみかんの収穫体験をしている。園長は常に地域との関わりが大切と意識し、積極的に地域に声かけし繋がりを得られるよう努めている。地域の親子に園庭開放や絵本の貸し出し、一時預かり保育等で保育園を地域の子育てに利用してもらっている。日赤ボランティアの行事への参加、「何かあったらいつでも呼んでください」と受け入れてもらっている。職員もボランティア受け入れの方針や意義を職員会議で話し合い共有している。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・B・C
II-4-(2)-②	関係機関との連携が適切に行われている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 社会資源を子どもの育ちに繋げるため自治会・公民館・消防署等、小学校、地域、法人舟伏の他施設などの諸機関から協力を得て地域の教育力として保育や運営に活かしている。園児のほとんどが就学していく地区の小学校と授業交流、就学前の懇談、入学した児童の授業参観を行っている。発達相談センターや言葉の教室・医療機関とも連携をとり発達について常に相談ができる体制をとっている。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者評価結果
Ⅱ－４－（３）－①	地域の福祉ニーズを把握している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－４－（３）－②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 普段から民生委員、児童委員、日赤ボランティアに訪問を受けたり園長自ら地域に出かけ福祉ニーズを把握する活動をしている。園開放で訪れた未就園児親子と言葉を交わし子育ての悩みや相談を園長や保育士が受けている。地域の福祉ニーズは一番身近な保護者から把握することが多い。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者評価結果
Ⅲ－１－（１）－①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－１－（１）－②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 利用者尊重の基本方針と子どもの最善の利益を考慮した保育課程が策定され実践している。プライバシー保護について、マニュアルが整備され、年度の初めに全職員で確認し、周知徹底を図っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－１－（２） 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ－１－（２）－①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 保育参観にクラス懇談会、また個別懇談を行い保護者の意向を汲み取り保育に反映するよう努めている。意見や意向は全職員で共通理解し保護者の思いを受け止めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ－１－（３）－①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－１－（３）－②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－１－（３）－③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 保育士と保護者が顔を合わせ常に子どもの様子を含めて連絡し合いコミュニケーションをとっていることで相談や意見が述べやすい体制ができている。毎日の登降園時に、気軽に声掛けをし保護者の表情から保護者の思いの汲み取りをすることで安心に繋がっている。しかし重要な相談の場合は担任から園長へ伝えられ個々に対応している。全体のことは園便りで知らせた</p>		

り、行事日に話している。苦情が大きな問題になった時には理事長、施設長も苦情解決のために行動をしている。苦情解決の体制はポスターに張り出され担当者が分かるように記されている。

改善できる点／改善方法：

Ⅲ－２ サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		第三者評価結果
Ⅲ－２－（１）－①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（１）－②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

良い点／工夫されている点：

保育サービスの質について、自己評価・第三者評価を実施している。自己評価は記述の方法で自己の課題、目標など掲げ達成の見直しを行い保育に反映している。

改善できる点／改善方法：

Ⅲ－２－（２） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果
Ⅲ－２－（２）－①	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（２）－②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

良い点／工夫されている点

保育課程に基づいて保育計画・年月案・週案が立てられ職員会議、週案打ち合わせ等の会議で職員共通の認識の基、保育がなされている。週案の検討時に保育の評価見直しを行い次に繋いでいる。更に自己評価を基に「保育サービスの質」の見直しを図り取り組んでいる。自己評価には園長がコメントを入れ更に保育の質の見直しがされている。

改善できる点／改善方法：

Ⅲ－２－（３） サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ－２－（３）－①	利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（３）－②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（３）－③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

良い点／工夫されている点：

指導計画に沿った保育記録・保育日誌・児童票や個別の記録など丁寧に記録されている。日誌は園長が点検しコメントを入れて保育の向上を図っている。職員会議や週案打ち合わせ時に、園児の状況等について議題に出し子どもの育ちの共通理解をしている。記録については園長責任の下で管理されている。保護者には個人情報保護の説明をしてある。

改善できる点／改善方法：

Ⅲ－３ サービスの開始・継続

Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－３－（１）－① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－３－（１）－② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 園庭開放時にパンフレットを配布し、園の方針、特色、保育内容の説明や子育て相談を行っている。一時預かりの利用者にもその時々園の情報提供に努めている。入園時にも社会福祉法人舟伏・日野保育園の理念・方針・保育目標等サービスの開始に必要な情報を文書で説明している。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
	Ⅲ－３－（２）－① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 保育サービスの変更や他の保育園への変更は、引継ぎや申し送りをし、子どもの生活の継続が図れるようにしている。他園からの転園には情報を収集し子どもや保護者の不安の解消と保育の継続性に努めている</p> <p>改善できる点／改善方法： 手順書、プロセスを定型化するような工夫を期待する。</p>		

Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－４－（１）－① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 入園時に家庭の状況調査票を配布し家庭状況の確認をしている。それ以外でも就労や家庭状況の変化があった場合は速やかに変更の手続きを行いアセスメントに反映している。保護者のニーズは日々の会話や個別懇談で情報を得ている。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
	Ⅲ－４－（２）－① サービス実施計画を適切に策定している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－４－（２）－② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 個々の発達過程を踏まえた保育計画を作成している。日々の保育記録やエピソード記述を元に、話し合いを行い、客観的に保育を振り返る事を積み重ね保育課程や指導計画に反映している。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		

(別紙)

評価細目の第三者評価結果
(児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育所保育の基本
Ⅳ－１ 養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１）保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	㊤・Ｂ・Ｃ
良い点／工夫されている点： 保育指針に基づき、理念、Ⅰ子どもの発達援助・Ⅱ子育て支援・Ⅲ地域の住民や関係機関との連携・Ⅳ運営管理、の４つの基本方針のもと、発達過程を踏まえ、年齢毎の養護と教育のねらい・保育の内容に重点を置いた保育課程を作成している。保育課程は職員参画のもと作成している。今後は保育の積み重ねを踏まえ更に見直しと改善を続けていく予定である。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（２）乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	Ａ・Ｂ・Ｃ
良い点／工夫されている点： 乳児保育該当なし	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（３）１・２歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	㊤・Ｂ・Ｃ
良い点／工夫されている点： 明るく温かい室内に、遊びと生活の用具を整え家庭的な環境に配慮している。一人ひとりの生活への穏やかな関わりや、遊びへの橋渡しにより養護と教育の一体的展開に応えられるよう配慮している。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（４）３歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	㊤・Ｂ・Ｃ
良い点／工夫されている点： 養護と教育の一体的展開がなされ、保育士の見守りのなか園児の活動や課題取り組みの展開がなされている。様々な素材が種類ごとに準備され、子どもの主体的な活動への環境作りがされている。保育士の適切な言葉掛けに配慮があり子ども達も落ち着いて活動に取り組んでいる。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（５）小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	㊤・Ｂ・Ｃ
良い点／工夫されている点： 隣接の小学校へ入学していく子どもがほとんどで就学前に子どもの育ちや、それ以後の生活や学びに繋がられるように懇談を行っている。子どもの授業体験や学校見学、学校の教員と保育士が合同で研修する場を設け更に連携の強化を図りたいと希望を持っている。	
改善できる点／改善方法： 教育の連続性が深まるように、更に小学校との連携を強めることを期待する。	

IV-2 環境を通して行う保育

IV-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	㊤・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 保育士の適切な接し方により、子ども達との信頼関係が築かれ落ち着いて生活や遊びに取り組んでいる。どの部屋も日当たりがよく、用具おもちゃなど子どもの手にとりやすい場所にきちんと整理され、様々な素材を準備し子ども達の豊かな創造の活動に繋がっている。子ども達の作品も遊びに利用し次の遊びへと展開している。また掃除の行き届いたトイレは無臭で子ども達が気持ち良く使用している。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	
IV-2-(2) 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	㊤・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 日々の遊びや生活の中から基本的な生活習慣が身につけられるよう丁寧な保育に心がけている。遊びの中から身体的な活動が出来るよう、年齢に応じた季節の遊びの中に取り入れ指導計画を策定している。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	
IV-2-(3) 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	㊤・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 様々な素材や玩具が子ども視線の位置に配置され、子どもの遊びを引き出すような環境を整えている。子ども達は自主的にまたは保育士の働きかけによって遊びに取り組んでいる。凧揚げ遊びを楽しむために広い公園へ出かけたり、金華山に親子で登山するなど様々な場所で人との関わりが出来る、協同的な活動が深まるように工夫をしている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	
IV-2-(4) 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	㊤・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 近隣農家のみかん畑に招待されてみかん狩り。また、からす瓜やどんぐり等が地域住民から届く事も多い。園の畑でイチゴ栽培や野菜づくりを近隣の高齢者と一緒にするなど地域が園の活動に積極的に関わっている。子どもたちも地域社会との関わりの中で、収穫の喜びや感動を共に味わっている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	
IV-2-(5) 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	㊤・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 日々の生活の中でことばのやり取りを楽しめるよう援助している。廃材、クレヨン等の用具を常に使えるよう配置された環境の中で、絵本の読み聞かせ、ごっこ遊び等様々な活動を展開している。保育士からは優しい丁寧な言葉掛けで子ども達は穏やかな生活を楽しんでいる。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	

Ⅳ－３ 職員の資質向上

Ⅳ－３－（１） 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	第三者評価結果
	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 園独自の自己評価を年４回行い、自分の保育を振り返り実践に反映している。今回の第三者評価も保育士が主体的に評価について話し合い保育の見直しを繰り返し実践してきた。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象Ⅴ 子どもの生活と発達

Ⅴ－１ 生活と発達の連続性

Ⅴ－１－（１） 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	第三者評価結果
	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 子ども一人ひとりの状態に応じ配慮のある取り組みをしている。丁寧な保育に心がけ、穏やかな見守りと接し方と適切な言葉掛けをしている。子ども達は安心して自己の力を十分に発揮して遊んでいる。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅴ－１－（２） 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	第三者評価結果
	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 障がい児担当保育士を配置し、障がいのある子どもが安心できる環境として子ども用オストメイトトイレの整備をしている。保護者とも連携を密にとり職員会議で話し合い、全職員が共通理解を持ち障がい児を含めた保育にあたっている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅴ－１－（３） 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	第三者評価結果
	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 長時間、延長保育は子どもが安心できる環境となるよう配慮をしている。職員体制を整え、子どもに安心感と保護者に信頼を得られるよう配慮している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅴ－２ 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

Ⅴ－２－（１） 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	第三者評価結果
	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 入園時にアセスメントを行い既往歴、予防接種などの情報は把握している。その後の接種や、毎日の健康状態の変化は常に担任や送迎時の保護者との直接の会話で情報を交換している。子どもの健康に関する保健便りを作成、保護者へ配布をしている。それらについては職員会議等で職員にも伝えている。</p>	

改善できる点/改善方法：	
V-2-(2) 食事を楽しむことができる工夫をしている。	①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 調理室から漂う匂いに子ども達は「良いーにおい」と五感を働かせている。部屋に貼られた栄養の色分け図や献立、玄関に今日の給食の内容を展示し、保護者と子どもの給食の楽しみとなっている。園の畑で収穫したトマトやイチゴも給食に取り入れ、自分で育てて食べる喜びを味わっている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
V-2-(3) 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 園の畑で採れた野菜を献立に入れ食べる体験で季節感や旬を感じるようにしている。調理員が子どもの話を聞いたり食事の様子を見て、給食や手作りおやつに反映している。</p>	
改善できる点/改善方法：	
V-2-(4) 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 園医による健康診断・歯科検診結果は文書で保護者に伝え、保護者はそれによりかかりつけ医、歯科医に受診をしている。その結果は園にも知らされ、児童票に記録し次年度に申し送りしている。受診結果は園長、担任が掌握し全職員も周知のうえ運動や衛生面での制限があれば職員みんなで見守りの配慮をしている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

V-3 健康及び安全の実施体制

V-3-(1) アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	第三者評価結果 ①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 食物アレルギーについて、保護者、担任、園長、調理員が毎月懇談を行い、医師の指示書のもとメニューのチェックと調理法について検討している。注意を要する子どもはトレーの色を変えるなど配慮している。</p>	
改善できる点/改善方法：	
V-3-(2) 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 調理員は衛生研修を受け職員会で報告、周知を図っている。水を含む衛生自主点検、食品の搬入時のチェックも毎日行い、調理室の細部に亘っての衛生管理などマニュアルにしたがって行っている。食中毒発生時の体制も整備し常に予防に努めている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

評価対象VI 保護者に対する支援

VI-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
VI-1-(1) 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 献立表を家庭に配布している。給食便りなどでレシピ紹介、クラス通信で食育に関する記事を掲載している。玄関には給食の内容を展示して食への関心が高まるように努めている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	
VI-1-(2) 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 毎日の送迎時に保護者とのコミュニケーションをとり、家庭との連携を図っている。気になることがあれば送迎の際に声を掛け会話をしたり、全てを園長に伝え面談をするなどの支援をしている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	
VI-1-(3) 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 常に保護者とのコミュニケーションに心がけ、悩みや育児の不安の相談を受けている。重要な問題があれば職員室を通して園長が対応している。参観日や親子活動の機会を利用し会話をすることで子育ての相互理解の場としている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	
VI-1-(4) 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 子どものしぐさや言動から、子どもの変化を読み取るよう努めている。児童虐待の研修を受け、復命を兼ねた報告を園内で行い虐待の早期発見、不適切な養育の把握に努めている。不適切な養育懸念がある場合は全職員周知のもと支援をしている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	

評価対象VIII 個別サービス着眼点（岐阜県独自項目）

VII-1 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
VII-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 外部からの侵入の対応マニュアルはあり、避難訓練も行っている。民生委員、日赤ボランティアさんからは「何かあったら直ぐに連絡を」の協力を得ている。全職員が共通理解のもと避難訓練で子どもの動きの予想をたて更に訓練の強化を図ることに努めている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	

VII-2 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
VII-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	㉠・B・C
<p>良い点/工夫されている点： アンケートや親との会話の中から意見を聴き、働いている保護者が参加しやすい方法を取るよう にしている。金華山の山登りに未就の幼児が居て付き添えない保護者には、一時預かり保育利用 を提案し参加できるようにするなど考え合っている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	
VII-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	㉠・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 保護者会活動に部屋の一部を利用できるようにしている。子どもの保育用具の購入やカラー帽子 の利用、子供服のリサイクルなど保護者会が自主的にアンケートを取り保護者の希望をまとめ、 園と連携して改善していくなど園と協同し活動している。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	

VII-3 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
VII-3-(1) 保育所・幼稚園・小学校との連携した取組を行っている。	㉠・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 隣接の小学校と生活科をとおして交流している。就学前の懇談等を行っているが、職員の連携が足 りないと感じ、保育と教育の互いの共通理解を図りたいと小学校に常に働きかけている。</p> <p>改善できる点/改善方法： 保育と教育の共通理解充実のため更なる連携の強化を期待する。</p>	